

Reflection for Secure IT Windows クライアント 7.1 リリースノート

この度 Reflection for Secure IT (RSIT) バージョン 7.1 を国内リリースする運びとなりました。以下 RSIT Windows クライアントの新機能について、その概要をご案内申し上げます。

記

1. 対象製品

Reflection for Secure IT Windows クライアント バージョン 7.1

2. バージョン 7.1 の主な新機能

- 1) 暗号化モジュールを更新し、共通鍵アルゴリズムとして aes(128/192/256)の CTR モードや、arcfour128/256 を追加し、メッセージ認証コード(MAC)アルゴリズムとして hmac-sha256 と hmac-sha512 を追加。更に、今回更新の暗号化モジュールに関して、米国標準技術局(NIST)暗号モジュール認定基準 FIPS 140-2 を再取得。
注記:hmac-sha512 アルゴリズム動作上の必要条件
hmac-sha512 ハッシュ動作のためには、diffie-hellman-group14-sha1 鍵交換アルゴリズムを必要としますが、7.1 リリース時点で未実装です。
- 2) HTTP プロキシサーバに対応。
- 3) 構成定義ファイルの一部設定において、Windows 環境変数を記述して指定可能。
対象は、UserConfigDirectory、IdentityFile、PasswordFile、UserKnownHostsFile、GlobalKnownHostsFile、User、AuthCookie。
- 4) 接続開始時にサーバホスト鍵の変更を検知した場合、ダイアログ表示にて既登録ホスト鍵との入れ替えか追加登録とするかを選択可。
- 5) SFTP において、転送前にダウンロードおよびアップロードオプションを表示する指定を追加。
- 6) コマンドラインユーティリティにおいて、IPv6 に対応し、IPv6 ホスト名を指定可。
- 7) 新規プラットフォームに対応
 - a) Microsoft Windows Server 2008

3. バージョン 7.1 の入手

- 1) ボリュームライセンス (VPA) 保守契約のお客様：
お手元に控えのユーザ名とパスワードを使い 下記 Attachmate ダウンロードライブラリサイトにログイン後、対象ファイルをダウンロードし入手下さい。
<https://download.attachmate.co.jp/Login.aspx>
- 2) シングルパッケージ購入のお客様 ならびに 保守契約をされていないお客様：
バージョンアップをご希望される場合、下記弊社お問合せ先までメール連絡をお願いします。
j-info@attachmate.com

以上